



水俣環境アカデミア

Minamata Environmental Academia



水俣環境アカデミアの理念

知の共創拠点として、地域及び国内外の産学官民を有機的に「つなぐ」ことにより、新たな「知」を創造・発信する。

—地域への貢献—

地域のニーズや政策課題と国内外の「知」をつなぐことにより、既成概念にとらわれず、より良い地域の未来を目指し、自ら考え、自ら学ぶことのできる未来志向型の人材を育てるための「知の拠点」を目指します。

—世界への貢献—

水俣地域の知識・知恵・教訓を集約し、あるべき姿を明確化することにより、知の共創拠点として、国内外に向けて「持続可能な相利共生社会」の実現のための解決策を示します。

◆ 水俣環境アカデミアの役割・活動指針

● 「知」を集め、つなぎ、創り、発信する。

「知の連携拠点」として、国内外の「知」をつなぎ、高等教育・研究の促進及び産学官民のグローバルネットワークの形成により、新たな「知」を共に創造し、世界が直面する様々な課題に対する解決策を発信します。

● 地域のシンクタンクとして、再生、融和、振興を持続的に支える。

地域ニーズと国内外の「知」をつなぎ、研究を推進することにより、地域課題解決のための具体的なアイデアや手法を提示し、水俣地域の持続可能な発展に貢献します。

● 未来志向型の人材を育成する。

高度化、複雑化する社会問題の解決に資するため、既成概念にとらわれず、様々な視点から目指すべき未来の姿を考え、その未来から逆算し、今やるべきことを明確化するバックキャストの考え方を持つ未来志向型の人材を育成します。

◆ 水俣環境アカデミアの機能

(1) 教育・研究活動の推進

水俣地域を研究フィールドとする学生や研究者等を積極的に受け入れ、水俣の地域課題と研究テーマをつなぐための提案を行い、実社会に即した研究活動の展開を支援します。

また、水俣の人材や自然、文化、産業などの地域資源を、次世代を担う人材の育成に活用するために、教育活動の積極的な誘致を行います。

さらに、遠隔会議システムを使った遠隔講義や出前講義なども行い、水俣地域が持つ知識・知恵・教訓を広く教育の場に提供します。

(2) まちづくりの推進

学生や研究者、地域住民のニーズに応じて、地域や外部の「知」とのマッチングを行うことで知の連携を促進し、それらの成果を地域課題の解決に反映させます。

また、市民公開講座、シンポジウム等を定期的の実施し、「知」との出会いの場をつくりま

す。さらに、高大連携未来塾や水俣市、国水研、水俣高校との三者協定による支援体制を通じて、スーパーグローバルハイスクールとしての水俣高校の活動を支援します。

(3) しごとづくりの推進

みなまた環境テクノセンターやエコタウンを始めとする地元企業との連携、様々な産業分野の研究者を招聘することなどにより、新たな産業の創造を推進します。

◆ 水俣環境アカデミアの具体的な取組例

地域に根ざした研究活動の誘致・提案

- 慶應義塾大学「第Ⅲ期 環境経済の政策研究」の受入
- 熊本大学「地（知）の拠点整備事業（大学COC事業）」の受入
- 九州大学都市研究センター「科学研究費」に基づく研究の受入

充実した高等教育の提供・提案

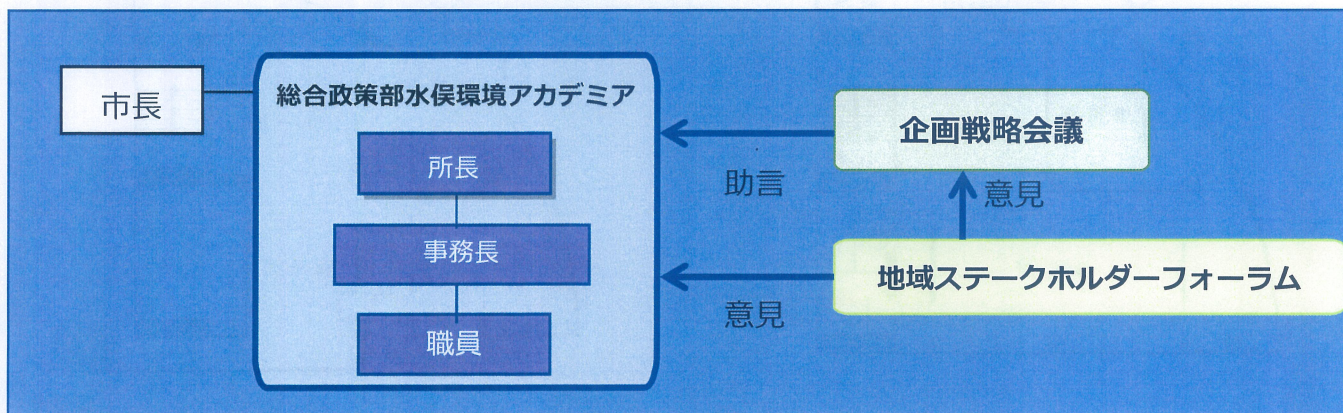
- フィールドワークの受入（東京大学、慶應義塾大学、九州大学、上智大学、福岡女子大学等）
- 地域人材による出前講義（京都大学等）、遠隔講義（慶應義塾大学・南栄科技大学）の実施

地域内外の連携による人材育成・地域活性化の推進

- 高大連携未来塾の実施
- スーパーグローバルハイスクールとしての水俣高校の活動支援
- 市民公開講座、ジュニアサイエンスセミナーの実施
- シンポジウムの開催

◆ 水俣環境アカデミアの運営体制

先駆的な知見と実社会の課題とを結び実効力ある運営を行います。



◇ 企画戦略会議

学識経験者等が構成員となり、専門的および先駆的な知見から水俣地域で実施される高等教育・研究活動の支援、連携に関する検討、助言および提案を行います。

◇ 地域ステークホルダーフォーラム

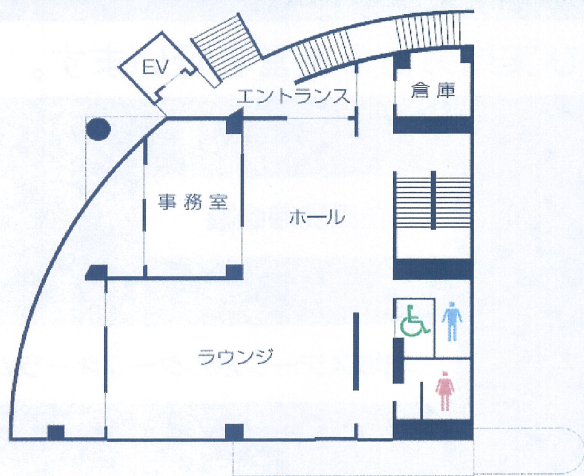
多様な分野の地域住民等が構成員となり、アカデミアや研究者などが地域の実情に応じた取り組みを行うため、自由な意見交換を行い、アカデミアの事業パフォーマンスの向上を図ります。

◆ 国内外に広がる水俣環境アカデミアのネットワーク

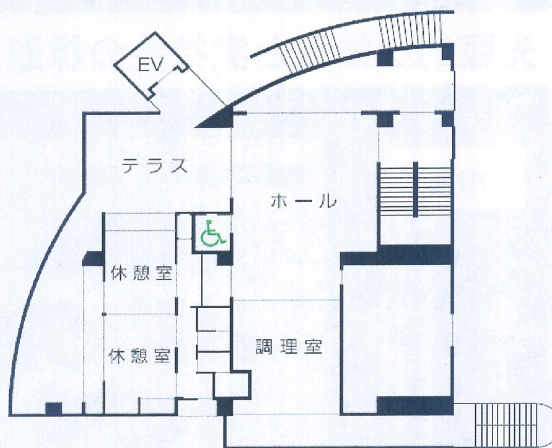
(水俣市との連携協定締結先)

- ◇ 熊本県立大学
- ◇ 熊本大学
- ◇ 崇城大学
- ◇ 国立水俣病総合研究センター
- ◇ 慶應義塾大学 (環境情報学部、総合政策学部、政策・メディア研究科)
- ◇ 南栄科技大学
- ◇ 九州大学都市研究センター
- ◇ 熊本県立水俣高等学校 (水俣市及び国立水俣病総合研究センターとの三者協定)
- ◇ 国立台北科技大学
- ◇ 東洋大学生命環境科学研究センター

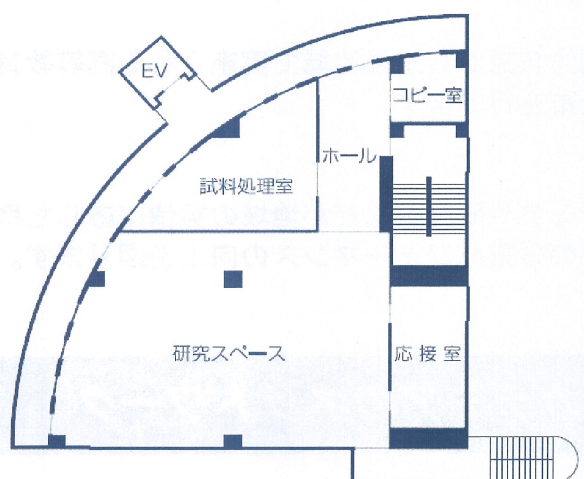
水俣環境アカデミア施設概要



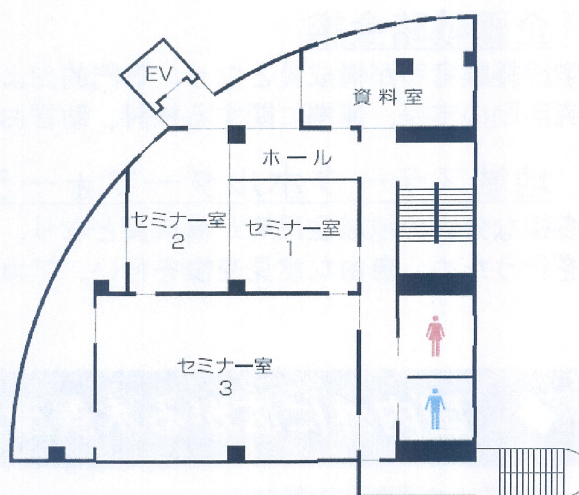
1階



2階



3階



4階



1階 ラウンジ



3階 研究スペース



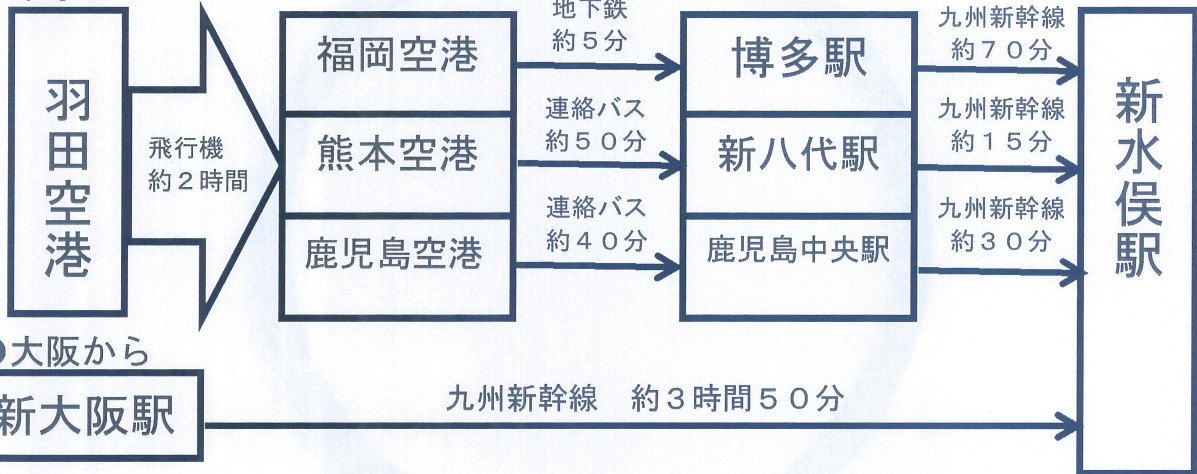
4階 セミナー室

	区分	広さ (㎡)	使用料 (1時間あたり)	使用料 (1日あたり)
1階	ラウンジ	118	600円	
2階	ホール	84	400円	
	調理室	40	400円	
	休憩室 1	20	100円	
	休憩室 2	22	100円	
3階	研究スペース	202	200円	1,600円
	試料処理室	55	250円	2,000円
4階	セミナー室 1	42 (12席)	200円	1,600円
	セミナー室 2	45 (21席)	200円	1,600円
	セミナー室 3	123 (54席)	600円	4,800円

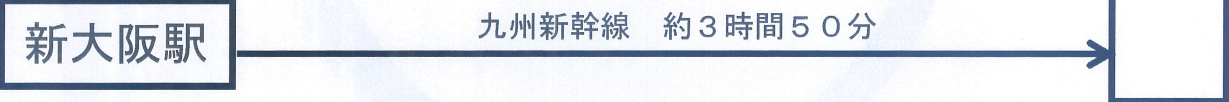
開館時間：9時～19時 休館日：土日祝日

アクセス

●東京から



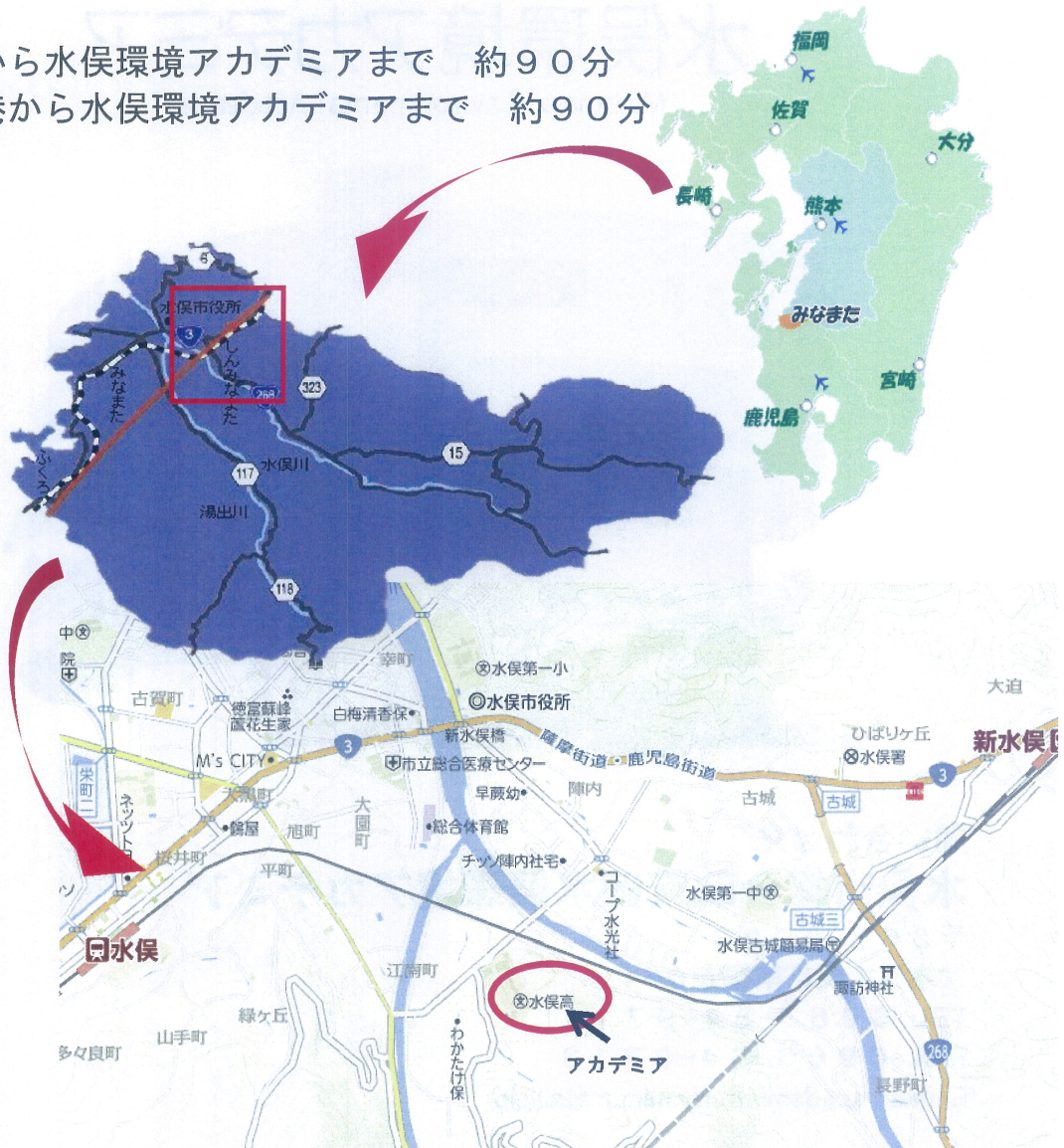
●大阪から

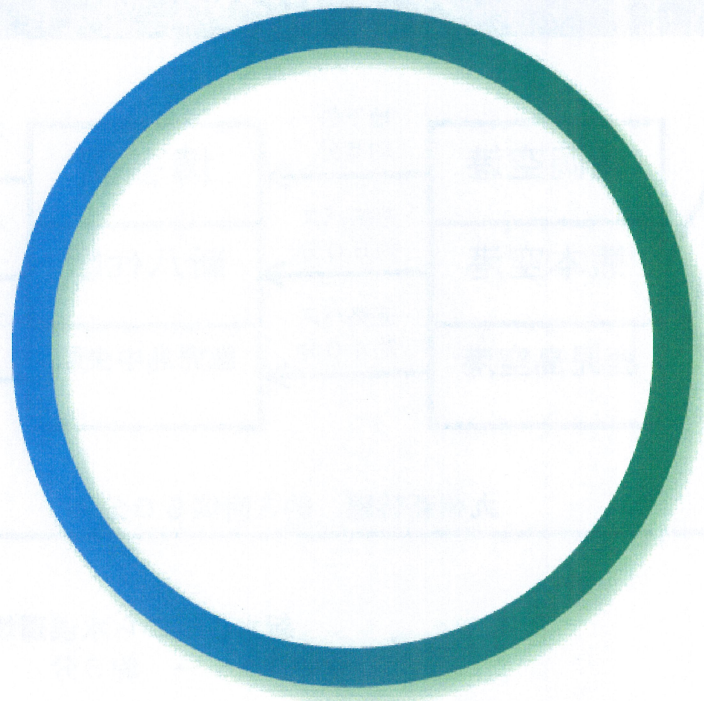


新水俣駅から水俣環境アカデミアまで
タクシー 約5分

●車利用

熊本空港から水俣環境アカデミアまで 約90分
鹿児島空港から水俣環境アカデミアまで 約90分





水俣環境アカデミア

Minamata Environmental Academia



問い合わせ先

水俣市総合政策部水俣環境アカデミア

〒867-0023

熊本県水俣市南福寺6-1

TEL 0966-84-9711

FAX 0966-84-9713

E-mail academia@city.minamata.lg.jp